

■ 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

令和5年度 取組状況

北陸地方整備局

R5.12末
時点

■堤防、護岸、排水機場等の被災施設の復旧

- ・原型復旧は、全797箇所のうち、797箇所完成（進捗率：100%）。
- ・改良復旧は、狭窄部の掘削及びその上流の堤防（左右岸約18km）について、堤防強化を推進中
- ・遊水地は関係者（地元）説明会を開催し、丁寧な説明を行いつつ早期の着手を目指している。

原型復旧の進捗

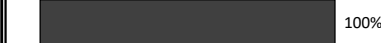
千曲川河川事務所

24箇所／24箇所（国管理区間）
5箇所／5箇所（権限代行区間）



信濃川河川事務所

12箇所／12箇所



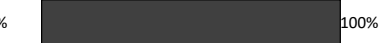
長野県

675箇所／675箇所 ※権限代行除く
※改良復旧同時施工箇所10箇所を除く
※R3.8、R4.7出水による被害拡大箇所等を除く



新潟県

81箇所／81箇所



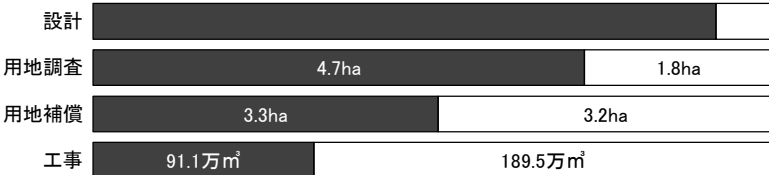
千曲川
令和2年6月撮影
長野県長野市 穂保地区
復旧状況



千曲川
令和3年7月撮影
長野県東御市 本海野地区
復旧状況

改良復旧等の進捗

①河道掘削（10箇所 281.0万m³）

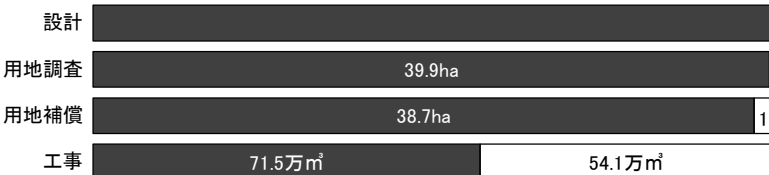


進捗率



着手後
信濃川
令和5年12月撮影

②築堤・堤防整備（量的整備）（25箇所 129.3万m³）

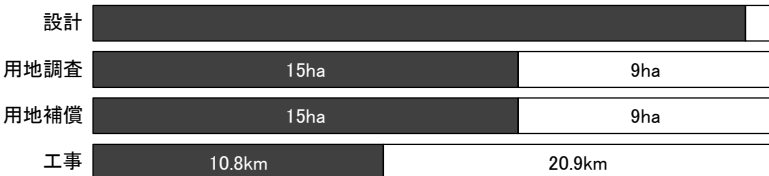


進捗率



施工状況
新潟県津南町 巻下・小島・押付地区（信濃川 左岸）

③堤防強化（質的整備）（26箇所 31.7km）



進捗率



施工状況
長野市 赤沼地区（千曲川）

④遊水地（9箇所）

地元説明会実施回数

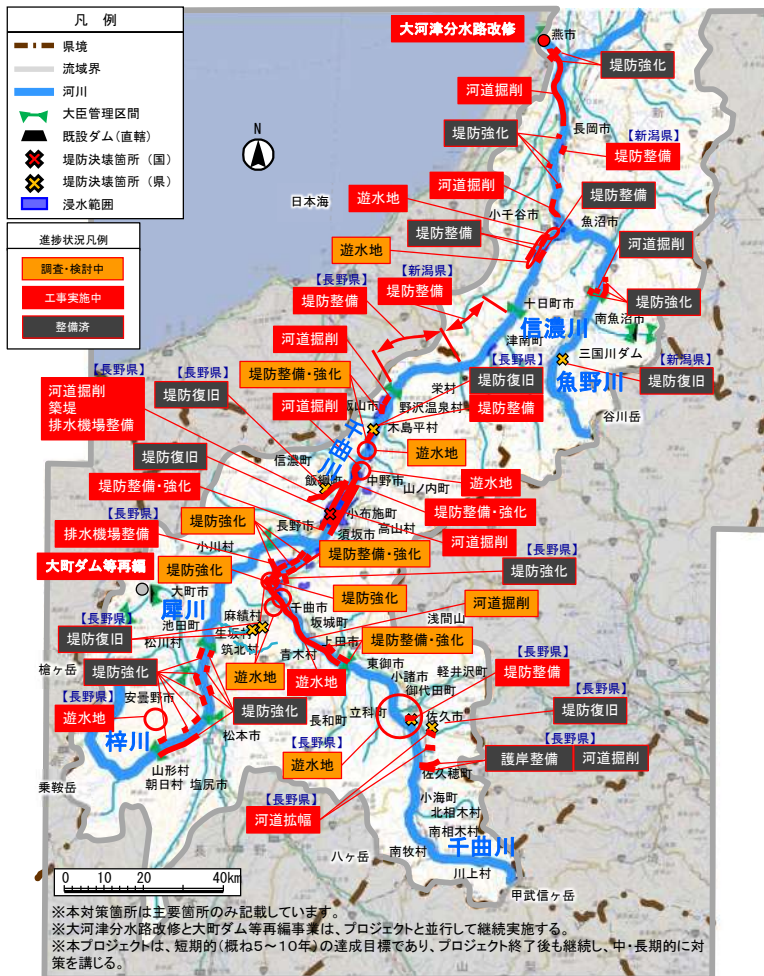
信濃川河川事務所 22回 長野県 14回
千曲川河川事務所 81回

8遊水地で住民説明会実施中
うち、4遊水地で工事実施中



中野市上今井地区住民説明会の状況

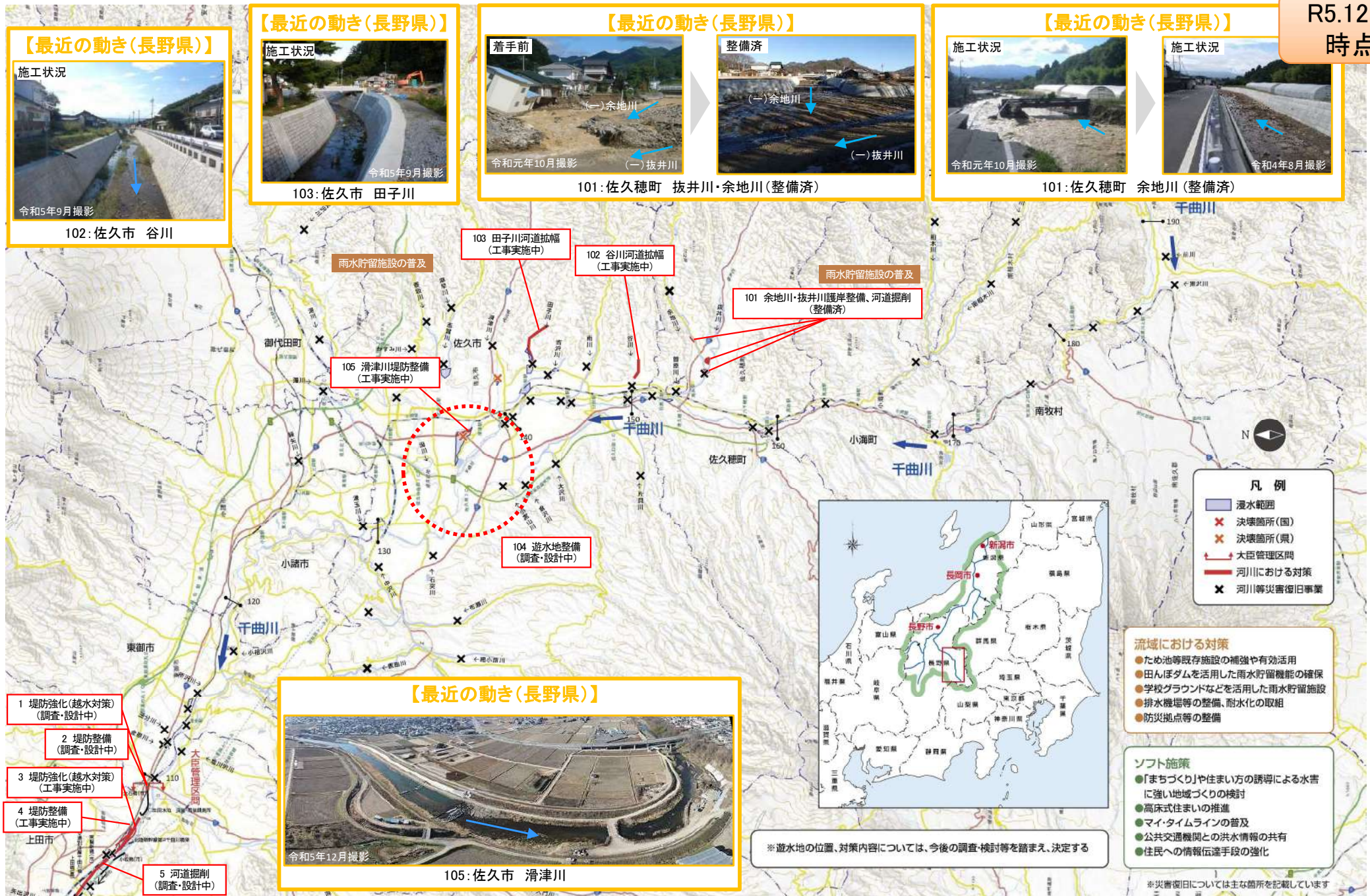
※令和5年9月末時点における、必要数量に対する数量・進捗率



令和5年度 取組状況

北陸地方整備局

R5.12末
時点



令和5年度 取組状況

北陸地方整備局

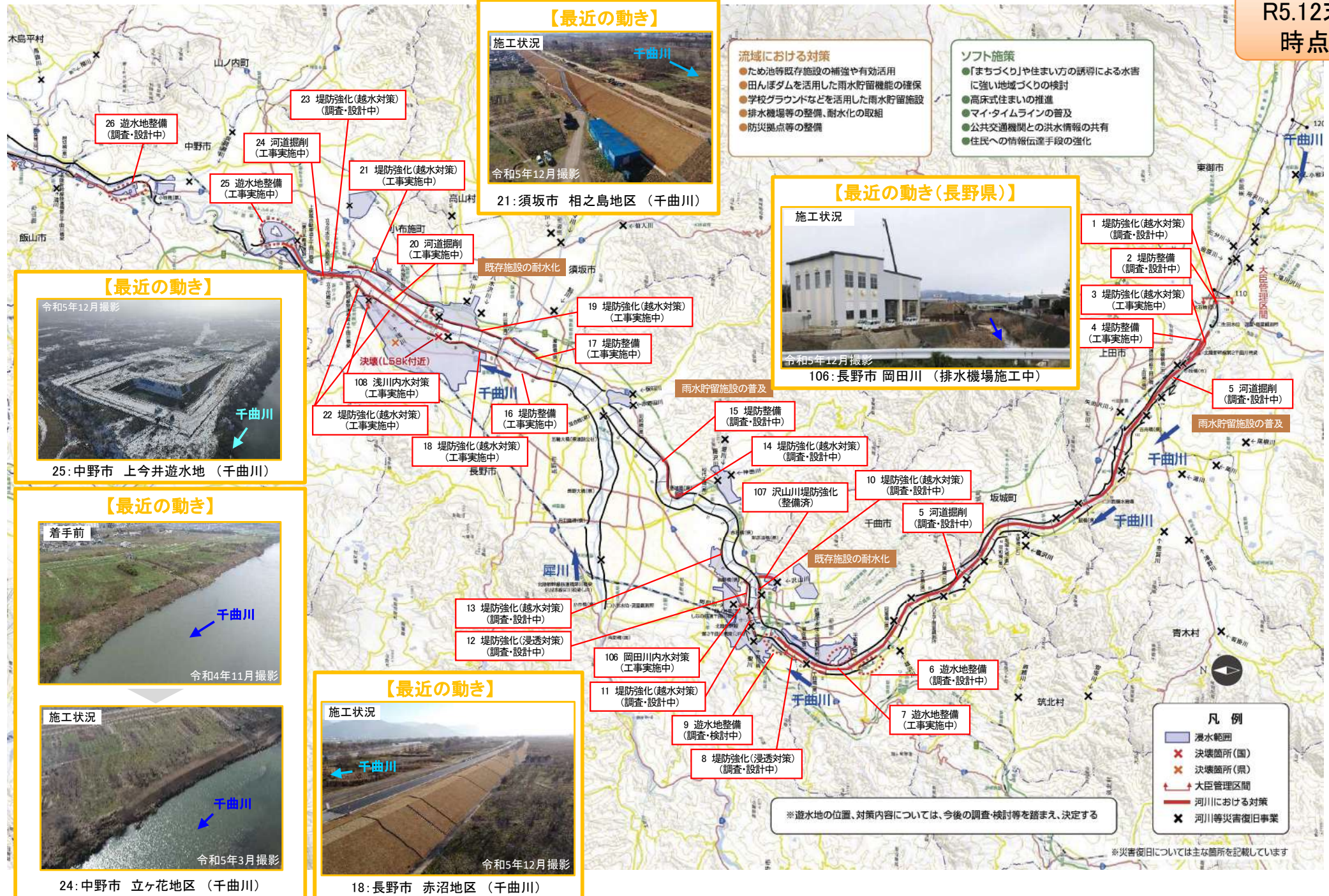
R5.12末
時点



令和5年度 取組状況

北陸地方整備局

R5.12末
時点



令和5年度 取組状況

北陸地方整備局

R5.12末
時点

【最近の動き(長野県)】

整備済



34: 飯山市 東大滝地区(千曲川 右岸)
(整備済)

【最近の動き(長野県)】



109: 飯山市 血川(堤防整備中)

【最近の動き(新潟県)】

着手前



36: 津南町 足滝地区(信濃川 左岸)
令和4年9月撮影

施工状況



令和5年12月撮影

【最近の動き】

着手前



29: 飯山市 戸狩地区(千曲川)
令和3年2月撮影

施工状況



令和5年12月撮影

※遊水地の位置、対策内容については、今後の調査・検討等を踏まえ、決定する

※災害復旧については主な箇所を記載しています

雨水貯留施設の普及

令和5年度 取組状況

北陸地方整備局

R5.12末
時点

【最近の動き】



49: 小千谷市 東栄地区
(信濃川 右岸)

流域における対策

- ため池等既存施設の補強や有効活用
- 田んぼダムを活用した雨水貯留機能の確保
- 学校グラウンドなどを活用した雨水貯留施設
- 排水機場等の整備、耐水化の取組
- 防災拠点等の整備

田んぼダム等の雨水貯留活用

排水機場整備

魚野川

49 河道掘削
(工事実施中)

50 堤防強化(越水対策)
(整備済)

48 堤防整備
(整備済)

46 堤防整備
(整備済)

47 遊水地整備
(工事実施中)

45 堤防整備
(整備済)

田んぼダム等の雨水貯留の活用

51 堤防強化(越水対策)
(整備済)

44 遊水地整備
(調査・設計中)

【最近の動き(新潟県)】



42: 津南町 巻下・小島・押付地区 (信濃川 左岸)



【最近の動き】



47: 小千谷市 塩殿地区 (信濃川 左岸)

【最近の動き】



49: 小千谷市 木津地区 (信濃川 右岸)

43 堤防整備
(調査・設計中)

41 堤防整備
(工事実施中)

40 堤防整備
(整備済)

38 堤防整備
(工事実施中)

37 堤防整備
(工事実施中)

42 堤防整備
(工事実施中)

39 堤防整備
(工事実施中)

令和5年度 取組状況

北陸地方整備局

R5.12末
時点

【最近の動き】



53:長岡市 榎下地区（信濃川）

【最近の動き(新潟県)】



115:長岡市 今井地区（浄土川）

【最近の動き】



56:大河津分水路改修事業（大河津分水路）



■土砂・洪水氾濫への対策

□土砂・洪水氾濫により被災する危険性が高い箇所において、人命への著しい被害を防止する砂防堰堤等を整備



梓川流域奈川左岸において、令和元年5月大雨により斜面崩壊が発生。下流域への土砂流出のおそれがあり、崩壊斜面の対策を実施。

高瀬川流域の籠川における籠川床固工群において、長寿命化対策として施設補強を実施。合わせて、魚道の整備を実施。

■ 農業用ため池を活用した雨水貯留の取組

- ・雨水貯留に係るかかり増し経費を助成するための、「ため池雨水貯留支援事業実施要綱」の創設
- ・ため池管理者や市町村に向け、説明会(県内2箇所(WEB併用)、159人)や意見交換を開催

取組実績: 県内420箇所、空き容量約670万 m^3 ※



市町村・ため池管理者等説明会(6/29,30)



←かかり増し
経費助成



ICT機器通信費助成⇒

ため池雨水貯留支援事業実施要綱の創設(7月)

※信濃川流域取組数: 369箇所、空き容量約650 m^3

■ 支流の流出抑制の取組（公園、校庭等の雨水貯留施設の整備ほか）

- ・県有施設に雨水貯留施設を設置。（令和5年度は102基を設置）
- ・流域治水の取組支援や連携強化を目的に、「流域治水キャラバン」を実施。市町村を訪問し、先進事例や流域治水に係る施策の動向等を紹介するとともに、市町村に主体となって実施いただく取組について、課題解決に向けた意見交換等を実施。（R5は「主に雨水排水規制ガイドライン等の未策定市町村」を対象に14市町村で実施）



県有施設における雨水貯留タンクの設置
（長野県小海高等学校）



「流域治水キャラバン」の実施状況
（令和5年度）

■ 森林整備・治山事業に関する取組

・一級河川上流域等において土砂流出防止機能や保水機能の向上を図るため、保水機能の低下した荒廃森林で森林整備を実施。また、治山事業で崩壊地を復旧して土砂流出防止機能の回復を図った。【実施者：長野県】

森林整備

長野県事業により森林整備・治山事業を実施

治山事業



【整備前】過密林分であり、林内に倒木や表土流出が目立ち、森林の機能が低下している。

【整備後】間伐により適度な密度が保たれ、幹の肥大成長や根系の発達が期待できる。また、伐倒木を横木として伏せることにより表土の侵食を防止し、下層植生の生育及び森林土壌の保持効果が期待できる。



【被災時】豪雨により山腹崩壊が発生。崩壊土砂が県道に流出した。

【竣工後】治山事業で崩壊地を復旧して土砂流出防止機能の回復を図った。

■ 支流域の森林整備に関する取組

- ・一級河川上流域等において、荒廃森林等の保水機能の低下した森林について、土砂流出防止機能や保水機能の向上を図るため、間伐等の森林整備を実施。【実施者：長野県】

長野県発注事業により森林整備を実施



【整備前】過密林分であり、林内に倒木や表土流出が目立ち、森林の機能が低下している。

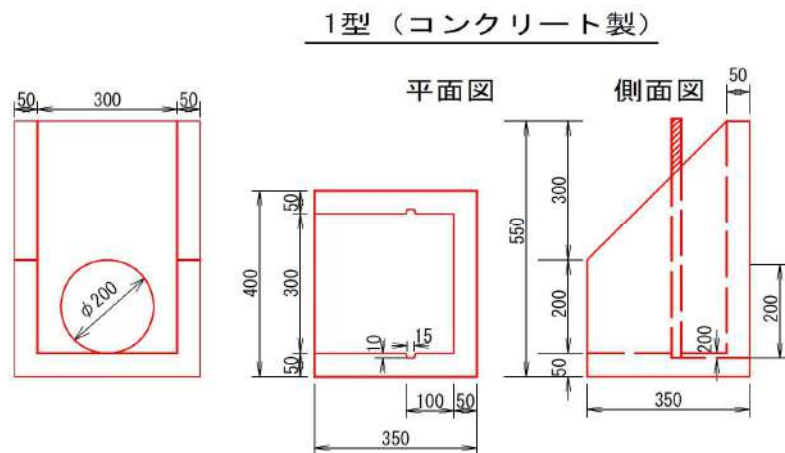
【整備後】間伐により適度な密度が保たれ、幹の肥大成長や根系の発達が期待できる。また、伐倒木を横木として伏せることにより表土の侵食を防止し、下層植生の生育及び森林土壌の保持効果が期待できる。(大町市 神明宮)

■ 水田を活用した雨水貯留の取組

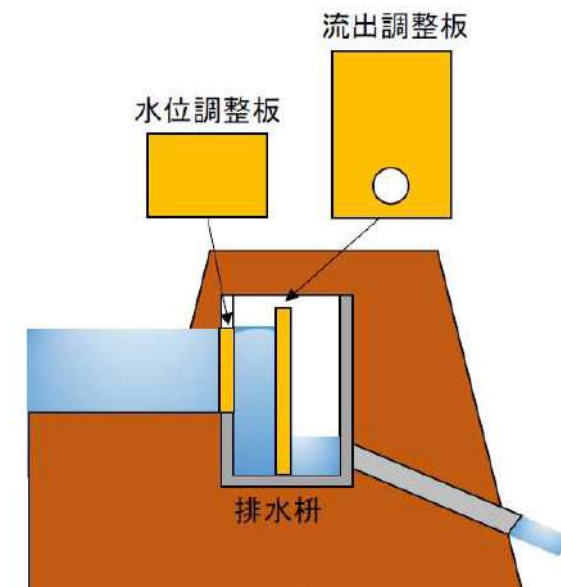
・「田んぼダム」の取組として、県内排水柵(コンクリート製)メーカーと共同で、現行モデルの「機能分離型」へのカスタマイズ手法及び製品化に向け検証。

取組実績: 県内3市町

長野県型(機能一体型)



機能分離型



より手間のかからない「機能分離型」による田んぼダム普及へ

令和5年度 取組状況

中部森林管理局

○各地の国有林においては、森林の有する水源かん養機能や土砂流出・崩壊防止機能の向上を図るため、令和5年度事業として、森林整備(植栽・下刈・除伐・間伐)を実施、治山対策(溪間工・山腹工)を実施した。
【実施署:北信森林管理署、中信森林管理署、東信森林管理署】

松本市 奈川第一国有林 下刈



下刈 作業後

北相木村 御座山国有林 間伐



間伐 作業前



間伐 作業後

長野市 朝日山国有林 山腹工



山腹工事着手



山腹工一部完成

■ 森林整備

- ・ 水源林造成事業により、新規植栽を進めるとともに、保育等の計画的な森林整備を実施

奥地水源地域の民有保安林内で森林の造成や整備を実施



照度管理（枝払）を実施した林分



植栽箇所での下刈（したがり）作業後の状況



健全な森林を整備するための間伐作業後の状況

■ 2. 被害対象を減少させるための対策

■「まちづくり」による水害に強い地域への誘導

＜取組方針＞

- ・建築基準法による災害危険区域の指定について、市町村からの相談対応
- ・相談時には区域指定について課題、情報共有のうえ関係各課と協議調整を行う
- ・災害危険区域内からの移転事業の周知等を行い区域指定の検討を促す

＜R5年度の取組状況＞

- ・災害危険区域内からの移転事業に関する補助制度の周知を実施
- ・新たな災害危険区域の指定に係る相談等なし

■不動産関係団体への水害リスク情報と周知協力の推進

＜取組方針＞

- ・水害ハザードマップが宅地・建物の取引における重要事項説明項目に加えられたことを関係団体を通じ周知
- ・市町村等から新たにハザードマップを作成・変更した連絡があった場合には宅建業者へ周知

＜R5年度の取組状況＞

- ・宅建業者による重要事項説明時に水害ハザードマップの内外であることの説明について、確実な履行が果たされるよう法定講習会等で周知

■ 3. 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

■ 緊急復旧等を迅速に行う防災拠点

- ・(公財)B&G財団の支援に基づき、防災倉庫や小型重機、スライドダンプ等の配備を実施。
- ・大規模災害時における各災害対応拠点(庁舎や避難施設ほか)等での土砂ガレキ撤去等の活用を想定している。



令和5年9月23日(土)～24日(日)
小型車両系建設機械運転特別教育(整地・運搬・積込用
及び掘削用)の様子



令和5年6月12日(月)より稼働
(左)防災倉庫 (右)ユニック・小型重機・スライドダンプ

- ・上記写真のほか、チェーンソーや救助艇等の資機材を配備。
- ・各資機材を使用するオペレーターの育成(特別教育等)も複数回実施。(市職員・消防職員・消防団員等)

■防災教育や防災知識の普及に関する取組

赤牛先生派遣事業 〈我が事として捉える防災意識の醸成〉

- 避難の基本「**自分の命は自分で守る**」を説く赤牛先生が、県下各地の公民館などで防災教育を本格展開
- 赤牛先生は、地域に根ざし、土砂災害の経験豊富な砂防専門家「長野県砂防ボランティア協会」（会員537名：R6.3現在）が担う
- 自身の災害経験のもと、クイズやハザードマップも使い、参加者の立場に立った、わかりやすい授業が好評
- 地区住民・役員、中学生からお年寄り、消防団・市町村の防災担当者など、幅広く参加
- 参加者の防災意識調査をもとに、**地区防災計画等の策定を支援**

令和5年度は、**29市町村で52回実施**

砂防ボランティアが
赤牛先生



R5.7.27 須坂市区長会を対象とした防災講座



R5.8.29 長野市立大豆島小学校での防災講座



R5.11.13 川上村防災交流センターでの防災講座
(地区役員・消防団向け)

長野県砂防課さんがリツイートしました

長野県 安曇野建設事務所 @Azuminokensetsu ・6月15日

長野県シニア大学松本学部の #防災講座 で、「#赤牛先生 (#砂防ボランティア協会)」が土砂災害について講演しました。本講座をきっかけに土砂災害の知識や防災について意識の向上につながると嬉しいです。あわせて安曇野建設事務所からは #土砂災害防止月間 #災害伝承 の取組について紹介しました。

R5.6 安曇野市での防災講座



安曇野建設
X(旧Twitter)

■防災教育や防災知識の普及に関する取組

・治水への意識高揚 ・身近な浸水被害解消 ・「流域治水」の推進

【参加者：市内の河川に係る同盟会等の団体、信州大学、長野高専、千曲川河川事務所、長野県、長野市】

○「ながの治水対策研究会」開催の概要

・令和4～5年度 シンポジウム、調査・研究テーマを洗い出し(第1回、2回)

開催日

2024年1月30日(火) 午後2時～午後4時

開催場所

TOIGO WEST 4階 長野市生涯学習センター 大学習室

定員

20名(先着順となります)

第2回 (R5年度)
ながの治水対策研究会

長野市ホームページから

プログラム

- 開会あいさつ
長野市長 荻原健司
- 基調講演
「官・学・民による地域の減災・防災における協働体制 について」
—小布施町におけるケーススタディー—
長野工業高等専門学校 工学科 教授 酒井 美月 氏
- 話題提供
 - 千曲川河川事務所
 - 長野県建設部河川課
 - 新町水防対策会
- 調査・研究テーマ発表
 - 信大工学部の発表
 - 長野高専の発表

【調査・研究の方向性】

身近な浸水対策と防災意識の向上へ

【調査・研究テーマ】

- ・小型気象レーダを用いた局所的大雨の監視に関する調査研究(信大)
- ・市内小河川における水位計測と降雨の関係に関する調査・研究(長野高専)

【研究の進め方】

令和6年度 市内をフィールドに試行的に実施

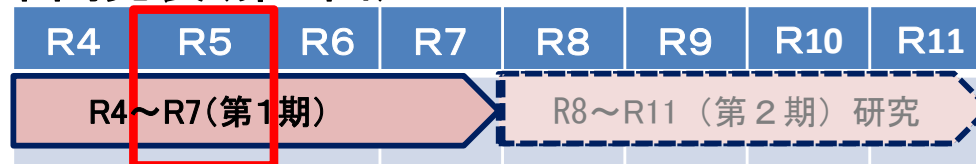


効果確認・改善等により

実装に向け、さらに調査・研究を深化

○今後の研究会の進め方

- ・令和6年度 調査・研究にかかる研究開始、中間発表(第3回)
- ・令和7年度 研究成果報告会(第4回)
- ・令和8年度以降 調査・研究(第2期へ)





■防災教育や防災知識の普及に関する取組

・パネル展、イベント、水害リスク情報の周知やSNS等を活用した発信

【協力:長野県、千曲川河川事務所、長野清泉女学院、長野県予報士会 参加者:一般から応募(114名)】

お天気教室2023を開催 (2017年以来の対面開催、2022年はweb開催)

お天気教室 2023
in 長野地方気象台

実験・体験をとおして、自然災害から身を守ろう！

2023年7月30日(日)

※申込み先着順(各部60名、Web・電話で受付)です。

小学生以下は保護者同伴
午前の部 09:30～12:00
午後の部 13:00～15:30
場所:長野地方気象台

気象に関する企画が
もりだくさん！自由研究
のヒントになるかも！
気象予報士の皆さん
によるコーナーなども
設置！体験もできるよ！

気象庁マスコット



■ 避難訓練への地域住民の参加促進

・自主防災会や地域住民が参加し、豪雨被害・浸水被害等を想定した避難訓練、及び防災アプリを使用した情報収集、並びに情報伝達訓練の実施

【参加者：地域住民、自主防災会、生坂村、生坂村消防団】

自主防災会・地域住民・消防団・役場職員との共同訓練を実施



令和5年9月3日(日) 生坂村総合防災訓練(生坂村下生坂区(左)、生坂村上生坂区(右))

■防災教育や防災知識の普及に関する取組

- ・学校が実施する防災教育に講師を派遣。地域の水害リスクを知ることで、防災意識の向上を図る。
- ・今後も学校等からの要望に応じ、支援を実施していく

- 令和5年10月6日(金)に飯山市立常盤小学校、
令和5年11月8日(水)に長野市立寺尾小学校にて防災教育を実施

- ・水害の歴史や出水をもたらす気象特性、平時からの備え等について学習
- ・水害への備えとしてマイ・タイムラインを作成するツールとして「逃げキッド」を紹介



水害リスクについて説明状況(常盤小学校)



「逃げキッド」作成状況(寺尾小学校)

■ 地域住民や小中学生等を対象にした防災教育の推進

- ・小学生・中学生の社会科見学によるダムの役割等の学習を実施
【令和5年度実績小学生:90名、中学生:38名】
- ・中学生の出前講座でダムの役割についての学習を実施(中学生約30人)



令和5年7月12日(月) ダム防災学習実施状況(白馬南小学校)



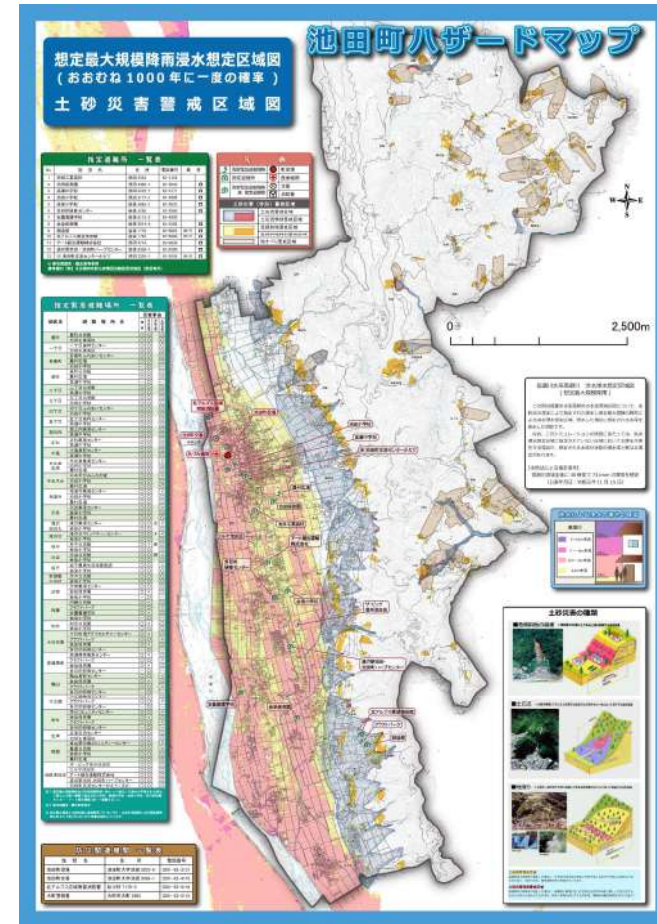
令和5年9月5日(火) 出前講座実施状況(大町中学校)

■小中学校等における水防災教育の実施

・会染小学校4年に対して、出前講座による防災教育を実施

【参加者：池田町立会染小学校4年生39名、池田町総務課危機管理対策室】

小学4年生を対象に防災教室を実施



令和5年12月20日(水) 防災教室で使用した資料(池田町ホームページ(左上)、池田町ハザードマップ(右)、河川砂防情報ステーション河川カメラ(左下))

■ 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組

□ 長野県総合防災訓練【中野市共催】(10月)



□ 千曲川 重要水防箇所等合同巡視(5月)



□ 防災教育(7月・11月)、出前講座(随時)



■ 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組

・自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施

【参加者：松川村、川西地区自主防災会、大町建設事務所、長野県砂防ボランティア協会】

長野県砂防ボランティア協会から地区の危険箇所について講演会を実施



令和5年8月27日(日)

村総合防災訓練後に川西地区の土砂災害危険箇所について講演会を実施し、地区の危険箇所の再確認を行った。

■ 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組

・自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の**共同点検**の実施

【参加者：千曲市、千曲市消防団、千曲川河川事務所】

河川管理者・地元水防団との共同点検を実施



令和5年5月22日(月) 共同点検実施状況

■ 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組

・自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の**共同点検**の実施

【参加者：上田市、上田地域広域連合消防本部、上田市消防団、沿川自治会、千曲川河川事務所】

河川管理者・自治体・地域住民との共同点検を実施



令和5年5月25日(木) 重要水防箇所合同巡視

■ 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組

・自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の**共同点検**の実施

【参加者：坂城町、坂城町水防団、近隣自治会、千曲川河川事務所】

河川管理者・自治体・地域住民との共同点検を実施



■ 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組

・自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の**共同点検**の実施

【参加者：須坂市消防本部、須坂市水防団、須坂市、沿川自治会、千曲川河川事務所】

河川管理者・自治体・地域住民との共同点検を実施



令和5年5月23日(火) 市内重要水防箇所現地調査 実施状況(須坂市村山(左)、須坂市九反田(右))

■ 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組

・自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の**共同点検**の実施

【参加者：小布施町、小布施町消防団、沿川自治会、千曲川河川事務所】

・自主防災組織を対象とした防災講習会の実施(計4回)

【講師：長野高専、小布施町 参加者：自主防災会役員、参加希望者(住民)】



令和5年5月29日(月) 千曲川重要水防箇所合同巡視



令和5年5月30日(火) 防災講習会(第4回)

■ 豪雨に対応したタイムラインの普及促進

- ・昨年度の須坂市タイムラインに続き、長野市で自治体タイムラインの作成支援
- ・千曲川・犀川流域(緊急対応)タイムラインとコミュニティタイムラインの連動させる市町村タイムラインの作成支援

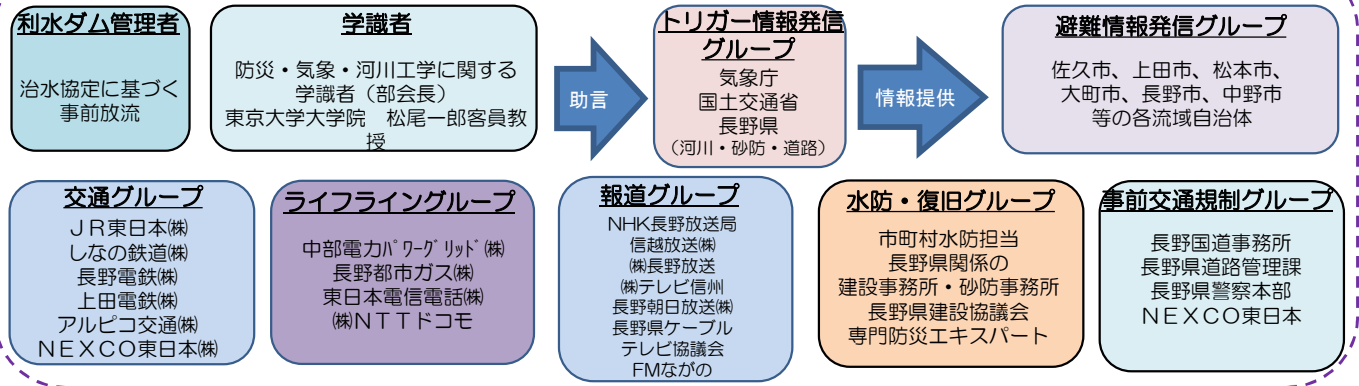
【運用会議実施状況】※令和6年1月現在

令和2年度: 2回
令和3年度: 7回
令和4年度: 4回
令和5年度: 6回 計19回

(代表例) 令和3年8月出水(前線性降雨)

- ①8月12日 流域警戒ステージⅡに移行を決定
- ②8月13日 流域警戒ステージⅢに移行を決定
- ③8月16日 再度の危機感共有
- ④8月17日 降雨状況・見込みの共有

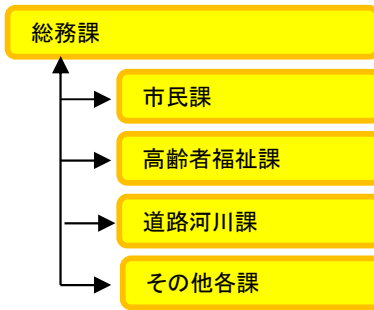
運用会議(TV会議) 千曲川河川事務所・長野県危機管理防災課主催



流域警戒ステージの区分・目標

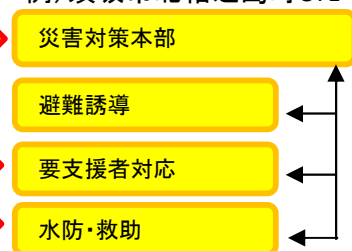
時期区分	防災行動の目標
流域警戒ステージⅠ	災害の危険性に注意を向ける
流域警戒ステージⅡ	防災対応の方針を決定する
流域警戒ステージⅢ	防災対応を開始する
流域警戒ステージⅣ	上下流を意識した防災対応を実施する

例) 須坂市タイムライン



市町村タイムライン

例) 須坂市北相之島町CTL



コミュニティタイムライン(CTL)



WEB
会議



各構成機関

千曲川河川事務所



千曲川・犀川流域緊急対応タイムライン
情報共有プラットフォーム

千曲川・犀川流域(緊急対応)タイムライン

■豪雨に対応したタイムラインの普及促進

・関係者が一体となったタイムラインの整備

【参加者：須坂市、須坂市水防団、相之島町自治会、須坂建設事務所】

自治体・地域住民とのコミュニティタイムライン作成

令和元年台風第19号ふりかえりシート

月日	状況・情報 / 行政の対応	連絡	避難	要支援者
10/11 金	05:59 台風第19号に関する長野県気象情報(2)			
10/12 土	07:40 大雨注意報・洪水注意報(気象台) 10:56 大雨警報(土砂災害)・洪水警報(気象台) 14:39 大雨警報(浸水害)(気象台) 16:40 避難準備・高齢者等避難開始(須坂市) 17:36 相之島排水機場運用開始(須坂市) 18:10 大雨特別警報(浸水害)(気象台) 20:00 避難勧告(須坂市) 23:40 千曲川氾濫警戒情報(立花)(河川事務所) (23:20 避難準備・高齢者等避難開始(立花)) 20:45 大雨特別警報(土砂災害)(気象台) 23:45 避難指示(緊急)(須坂市) 23:55 千曲川氾濫警戒情報(立花)(河川事務所) (23:40 避難準備・高齢者等避難開始(立花))			
10/13 日	00:05 最高の警戒レベル5(千曲川氾濫)(須坂市) 00:07 相之島排水機場運転停止(須坂市) 00:50 最高の警戒レベル5(千曲川氾濫)(立花) 02:03 氾濫発生情報(千曲川)(河川事務所) (2時ごろ千曲川の洪水を確認) 23:00 千曲川 水防団待機水位に低下(立花)			



令和5年10月2日(月) 相之島町コミュニティタイムライン第1回WSにおいて意見をまとめた表 (相之島公会堂)

令和5年11月15日(水) 相之島町コミュニティタイムライン第2回WSの様子(相之島公会堂)

■ マスメディアとの連携強化

- ・テレビ取材を通じて、広く防災情報等について周知
- ・防災教育番組の作成支援

洪水対応演習の実施

- ・令和5年6月16日(金)にNHK長野放送局にて生放送に出演し、水害リスクラインについて解説
- ・令和5年9月7日(木)にNHKにて教育番組の収録に参加し、流域治水等について解説
- ・令和5年10月12日(木)にNHK長野放送局による生中継を千曲川河川事務所で実施し、防災情報等について周知



水害リスクラインについて解説



流域治水等について解説



防災情報等について周知

■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組

・R2年度に改訂された評定基準に基づいて重要水防箇所を見直し、消防団や地域の区長とともに合同巡視を実施

千曲川・犀川 重要水防箇所等合同巡視

- ・令和5年5月16日(火)坂城町での合同巡視を皮切りに、11市町村12回の合同巡視を実施し、計411名参加
- ・地元への危険箇所の認識共有及び、水防団への水防活動における資材、重要水防箇所の認識共有を図る



合同巡視の実施状況(生坂村)



水防団及び自治体との水防資材の確認(長野市)

■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組

・ 水防団（消防団）で水防訓練を実施



【訓練の概要】

- 1 開催日時：令和5年8月6日
- 2 参加者：松本市消防団
- 3 講師：松本広域消防局
- 4 訓練内容
 - (1) 土のう作り
 - (2) 積土のう訓練

水防訓練実施の様子

■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組

・村ぐるみ防災訓練において、消防団による水防訓練を実施し水防体制の強化を図る。

【参加者：木島平村、木島平村消防団、（※土のう設置訓練の事前講習を北信建設事務所において実施）】

消防団による水防訓練



令和5年8月27日(日) 排水ポンプ設置訓練(左)
令和5年8月10日(木) 土のう設置訓練の事前講習(右)

■ 消防団等と連携した水防訓練の実施

- ・長野気象台による水害対策ワークショップの受講。
- ・消防団等の関係機関と連携した延長送水訓練の実施。
- ・避難所用資機材の活用研修

【訓練参加機関：栄村役場・栄村消防団・岳北消防本部栄分署・北信生コン協同組合・長野地方気象台】



令和5年度栄村水害対策訓練・防災訓練（令和5年7月1日（土）・10月22日（日））

（左）：関係機関と連携した延長送水訓練の様子 （右）避難所用資器材活用研修の様子

■出水期前にあたり、消防団員の士気の高揚と水防技術の向上、水防体制の強化を図り、あわせて地域住民に対し、水防の重要性の認識を高めることを目的とする

【参加者：中野市、中野市消防団、中野市消防課、中野消防署】



中野市長へタイガーダム概要説明



土嚢作成機を使用し土嚢袋を作成。

令和5年5月20日(土) 中野市水害対策訓練実施状況 (夜間瀬川左岸で実施)

■排水ポンプ車の導入による排水訓練を実施

・排水ポンプ車の導入に伴い、出動の際の手順、車両の取り扱いに関する訓練を7月から9月にかけて4回実施しました。【参加者：安曇野市、国土交通省千曲川河川事務所、市内委託業者】



排水ポンプ車 訓練状況（安曇野市豊科南穂高 犀川）

避難確保計画作成支援(栄村)

- ・土砂災害警戒区域内の市町村地域防災計画に位置づけられた要配慮者利用施設の管理者等は、避難確保計画の作成・避難訓練の実施及び避難訓練の実施結果の報告が義務付けられている。
- ・湯沢砂防事務所は栄村と共同で、対象となる4施設に対して、避難確保計画の作成支援を実施した。
- ・令和4年12月16日(金)に、4施設合同で勉強会を開催した。
- ・令和5年7月10日(月)、9月27日(水)に対象施設3施設個別に勉強会を実施した。
- ・今年度も避難確保計画の作成や避難訓練の実施、計画の見直し等必要に応じ支援する予定。



4施設合同の勉強会の状況



対象施設個別の勉強会の状況

施設管理者の意見

- ・施設が土砂災害警戒区域に指定されていることは知っていたが、山から施設まで距離があるから本当に到達するのか疑問に感じていた。
- ・施設利用者は通いの方が多いので、安全に移動するために危険箇所を事前に調べておく必要がある。
- ・指定福祉避難所までに土砂災害警戒区域内を通過する必要があるため、利用者に怪我等のリスクがあることから、施設の2階への避難が有効であり、そのための訓練も必要。
- ・電気や水道が使用できなくなった場合も想定しておく必要。